

自動壁紙糊付機械 ** AQUACOATER**

大型携帯端末搭載

取扱説明書

安全のためご使用前に必ずお読み下さい



このたびは、当社壁紙自動糊付機械『**AQUACOATER**』をお買い上げいた だき誠にありがとうございます。

ご使用に際し、事前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分ご理解いただいた上でご使用ください。 ご不明な箇所がありましたら、巻末に記載しました当社までお問い合せ願います。

なお、この取扱説明書はいつもお手元に保管され、ご利用いただきますようお願 い申し上げます。



お使いになる前に

●本機をご使用になる前に、下記の梱包内容がすべて揃っていることをご確認ください。

ΔΟΔΟΔΤΕΡ

商品番号 400-210 (AQUA COATER アクアブルー)400-230 (AQUA COATER スパークリングイエロー)

- 1 糊付機械・本体
- 2 スーパーナイフスリッター
- 3 コントローラー
- 4 携帯端末
- 5 クロス芯棒
- 6 NEWテンションバー1,2
- 7 テンションバー3
- 8 取扱説明書(本書)・付属品

YAYOI

ΔQUACOATER

9 保証書





目次

1	取扱い上のご注意	4
2	各部の名称	7
3	機械のセット	
	脚・テンションバー	1
	本体・コントローラー	2
	スリッター	3
4	作業準備	
	クロス原反のセット	4
	カットテープのセット	5
	糊の供給・糊厚の調整	6
	ツメ位置の調整・裁断幅の調整	7
5	糊付作業手順	
	クロスの通し方	8
	NEW テンションシステム・壁紙裏面検尺機構	9
	糊付け作業・ウェイトローラー	20
6	コントローラーの操作方法	
	操作スイッチ	?1
	操作パネル	22
	操作画面2	23
	通常モード	24
	プログラムモード	25
	外部キーによる糊付設定・コントローラ本体のみの糊付2	26
	詳細画面	?7
	時計画面	28
	履歴画面	29
	初期設定画面・糊タンク重量センサー設定	30
	時計画面表示時間・端末検知機能	31
	補正機能・残量設定・電卓機能	12
	エラー表示画面	13
_	アクアコーターデータ保存方法	34
7	本体部の掃除・手入れ	15
8	機械の調整・点検	17
9	スリッター刃物の交換方法 ····································	18
10		10
11	別売オブション	12
12	仕様	13

取扱い上のご注意

自動壁紙糊付機械をご使用いただくには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が 不可欠です。本文をよくお読みいただき、十分にご理解された後、糊付作業なら びに保守作業を行ってください。

この取扱説明書では、誤った取扱いをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人身事故につながる恐れのあ る内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、機械の破損・故障につながる 恐れのある内容を示しています。
ахт	これを知っておくと便利という内容を示しています。





煙が出ている、変な臭いや異音がする等の 異常状態のまま使用すると、火災・感電等の 原因となります。すぐにコントローラーの電 源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセ ントから抜いてください。



作業終了後は、コントローラーの電源スイッ チを切り、必ず電源プラグをコンセントから 抜いてください。



コントローラーを分解したり、改造したりしな いでください。感電・故障等の原因となります。 内部の点検・修理は、当社各営業所に依頼し てください。



コントローラーに水が入ったり、濡らさない ようにご注意ください。火災・感電・故障等の 原因となります。屋外での使用や機械の洗 浄時等は、特にご注意ください。



電源コードの上に重いものを載せたり、コードが機械の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードを引っ張られないようにしてください。コードに傷がついて火災・感電等の原因となります。



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線等)、 当社各営業所に交換修理を依頼してください。 そのまま使用すると、火災・感電等の原因と なります。



禁止

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に 曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱した りしないでください。コードが破損して火災・ 感電等の原因となります。



糊付機械作業中は、ローラーやギヤ等の間 に指をはさまないよう十分注意してください。



コントローラーは機械本体に着脱できるよう になっています。着脱の際、必ず先に電源を 切ってください。誤って動き出すとけがをす る恐れがあります。



糊付機械を洗浄するときは、コントローラー とスリッターを取り外して行ってください。 ローラーの間に手を巻き込んだり、スリッタ ーの刃物で手を切ったりする等、思わぬ事故 を未然に防ぎます。



糊付機械を洗浄するときは、オクリダシロー ラーを取り外して行ってください。ドクター ローラーとオクリダシローラーの間に手を 巻き込む事故を未然に防ぎます。



スリッター運転中には絶対に刃物に触れな いでください。手を切ります。 また、スリッター停止中も十分注意してください。



スリッターのカッターボックスを分解しない でください。手を切ります。

コントローラーの電源プラグを抜くときは、 電源コードを引っ張らないでください。コー ドが傷つき、火災・感電等の原因となること があります。必ずプラグを持って抜いてくだ さい。



禁止

濡れた手でコントローラーの電源プラグを 抜き差ししないでください。感電等の原因と なります。また、必ずアースをとってご使用く ださい。

機械の上に重いものを置かないでください。 機械が変形・破損したり、落下してけがの原 因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所等、不安定な 場所に置かないでください。機械の誤作動や、 倒れたりしてけがの原因となることがあります。 必ず水平な場所で使用してください。



脚ロックレバーを解除し、脚を外に開くとき や閉じるときは、手をはさむ恐れがあります ので十分注意して行ってください。



警告

脚を開き組立てるときは、脚が確実にロック されていることを確認してください。ロック の状態が悪い場合、作業中、脚が倒れて、け がをする恐れがあります。また、脚を内側に 折りたたみ収納する際、脚が確実にロックさ れていることを確認してください。ロック状 態が不十分だと運搬時に脚が開き、足をけ がする恐れがあります。ロック状態が悪い場 合は、部品交換ないし修理をご用命ください。





精密機械ですから落としたり、ぶつけたり、極 端な衝撃を加えないでください。

電圧低下、電圧変動によりコントローラーが 正常に作動しない場合がありますのでご注 意ください。



注意

コントローラー、スリッターは、本体から取り 外して別に運搬してください。運搬中に機械 が落下して破損する恐れがあります。機械本 体と脚部を同時運搬される際は、機械本体・ 上下フレームのパチン錠、本体と脚のキャッ チクリップを必ず掛けてください。また、糊タ ンクロックを下げてください。



窓を閉めきった自動車の中や直射日光があた る場所等、異常に温度が高くなる場所や、湿気 の多い場所に長時間放置しないでください。 機械の変形・故障等の原因となることがあり ます。



掃除をするときはワイヤーブラシなど、かた いものでこすらないでください。ローラー等 の表面に局部的な力を加えると破損する恐 れがあります。



液晶表示は、使用温度範囲(0~40℃)を超 えると、表示が見えにくくなることがあります。 また、低温(0℃以下)になると表示切替りの レスポンスが遅くなる傾向があります。低温 時は予め10分程度、通電後、糊付作業を行っ てください。

液晶表示は、見る方向によって表示が見えに 注意



使用後はローラー、糊タンクは水洗いし、ス テーや脚等、糊のついたところは、水を含ま せた雑巾等で拭き取った後、乾いた雑巾で 乾拭きしてください。洗浄、拭き取りが十分 でないと部品の劣化や変色に至る場合があ ります。

くくなることがあります。



ドクターローラー、糊ローラーの水洗いは厳 密に行ってください。乾燥後、薄い糊の皮膜 が残っているだけでも、糊付けのムラ、かす れの原因となることがあります。



オクリダシローラー、検尺ローラーに糊がつ いたときは必ず雑巾などできれいに拭き取 ってください。糊がついた状態で放置すると ひび割れすることがあります。



機械に糊を入れたまま長時間放置しないで ください。特に機械が新品の使いはじめの時 期は、必ず使用後に機械を洗浄してください。 糊ローラー、ナラシローラー、糊上げローラー、 オサエローラー、ドライブローラーが変色(腐 食) することがあります。 ローラーの変色は 高温になるほど進行が早くなりますので、糊 を付けたまま自動車への保管は特に気を付 けてください。





経時により、オクリダシローラーや検尺ロー ラーが変色(黄変等)する場合があります。 ローラー間のグリップ力を保持していれば、 糊付性能に影響はありません。 グリップカが 低下した際は、ピンチ圧を調整したり、場合 によってはローラーの交換が必要な旨、予め ご了承ください。



『AQUA COATER」は、当社アクアマイルド及び ルーアマイルドで均一な糊付けができるよう設計 しております。糊の種類、粘性、使用条件等によっ て、糊付き状態にバラツキが発生します。レギュ レーターに、アクアマイルド(又はルーアマイルド) を入れ、規定線までの水の量で希釈するとアクア マイルド(ルーアマイルド)溶液がつくれます。



糊タンク内に糊を入れたまま一晩放置すると、糊 の流動性が悪くなり糊切れを起こす場合がありま す。ご使用前に糊タンク内の糊をヘラで混ぜるか、 一旦糊をレギュレーターに戻して再攪拌してくだ さい。



製品出荷時、『AQUA COATER』の糊厚は、糊口 ーラーとドクターローラーの隙間量で左右同じに なるように調整しています。しかしながら、実際に 壁紙に糊を付けた状態では、左右の糊付量に若 干違いが発生する場合があります。その場合、糊 付き状態を確認しながら、本書P16・P37を参 考に調整してください。



本体部のコントローラー取付面(軸受力バー2) にシール等貼付しないでください。 本製品は、コントローラーからの信号を非接触(コ

ードレス)にて本体へ送信しています。 シール貼付により信号伝達が阴害され、読み取り不

良を発生させる場合がありますのでご注意ください。



壁紙や接着剤等の材料状況、あるいは高温時、低 温時等、ご使用環境条件等によっては、『AQUA COATER』の糊付性能、スリッター裁断性能、採 寸性能等が十分に発揮できない場合があります。 このような場合、予め試験使用しご確認された後 本使用してください。



壁紙材料の種類により壁紙を機械にセットした状 態で放置すると、気中の湿気により巾方向に伸び る材料があります。 このような材料を、スリッター裁断後そのままの

状態で放置すると、湿気により裁断幅が伸び、放 置後にスリッター裁断した裁断巾と巾寸法が異な るため、切断面に段差が生じ美しい突き付け施工 ができない場合があります。このような場合、放 置時間を抑えるなど、予めご留意願います。



スリッターでクロスの耳を裁断時、クロスのセット方法 が悪いとまっすぐ切れなかったり、切れ味が悪い場合が あります。クロス原反の位置、スリッターのカッター位 置を左右同じにセットし、クロスは左右たるみが出ない よう原反を抑えながら機械に引き込んでください。



スリッターでクロスの耳を裁断時、クロス原反の巻き状 態が悪いものや、つぶれた状態の原反等では、まっすぐ 切れない場合や耳の端部がつまる場合があります。 巻きの悪いものは、耳をそろえ直してご使用ください。 つぶれた原反のものは、巻き直すか矯正してからご使 用ください。



カットテープご使用の際、テープが蛇行、シワになる場 合があります。テープはまっすぐに裁断されているもの をご使用ください。

また、テープ側板のあて方でテープにかかるテンション が調整できます。適度なテンションでご使用ください。



壁紙や接着剤の種類、状況によっては、十分な性能が 発揮できない場合があります。このような場合、摩耗し た部品の迅速な交換が必要な旨、予めご了承願います。



経時のご使用により『AQUA COATER』の構成部品が 摩耗し、十分な性能が発揮できない場合、当社営業所 宛お問い合わせいただき、部品交換ないしオーバーホ ールをご用命ください。



『AQUA COATER』では、予め消耗を想定した部品が あります。それらの部品につきましては、保証期間内で あっても無償での部品取り替えはできませんので予め ご了承ください。



修理が必要な場合、施工現場にて修理するには修理内 容に限度があります。厳密に修理するには、一旦当社へ 機械を戻し、詳細な点検調整が必要なことを予めご了 承ください。



『AQUA COATER』をご使用の際、取扱説明書、保証 書をよくお読みいただき、ご理解された上でご使用く ださい。本機の保証期間は6ヶ月ですが、取扱い等に 問題があった場合、保障できかねる場合がありますの で予めご了承ください。



『AQUA COATER』はスリッター精度向上の為テンショ ンのかかりやすい構造にしてあります。壁紙正反の場合 や重い原反の場合、モーターに負荷がかかりますので NEWテンションバー2は、原反の巻が少なくなった場合 にご使用ください。



クロス側板はクロス原反に密着して固定してください。 密着していないと壁紙が原反から緩む原因となります。

注意



【全体外観図】

	商品番号	部品名	使用個数
$\overline{\mathbb{O}}$	400-255	本体カバー	1
2	400-256	NEW テンションバー 1	1
3	400-257	NEW テンションバー 2	1
4	400-258	テープ芯棒A(蝶ナット付)	1
5	400-151	NEW テープ側板 SP (蝶ネジ付)	2
6	400-330	テープ芯	1
$\overline{\mathcal{O}}$	400-259	テープガイドA 50㎜巾	1
8	400-052	テンションバーロックLS	2
9	400-260	クロス芯棒	1
$\overline{\mathbb{O}}$	400-261	クロス側板(蝶ネジ付)	2
$\overline{\mathbb{O}}$	400-262	テンションバー 3	1

商品番号	部品名	使用個数
408-604	クロス受け摺動材 (ネジ側) ブラック	2
408-605	クロス受け摺動材 (ナット側) ブラック	2
400-263	クロス受けブラケット	2
400-264	ツマミ	2
400-265	M8フランジクレーター	2
400-266	キャスター(ストッパー有)	2
400-267	キャスター(ストッパー無)	2
400-268	脚キャップ	4
400-269	脚用ローラー	4
400-053	パチン錠	4
	 み品番号 408-604 408-605 400-263 400-264 400-265 400-266 400-267 400-268 400-269 400-053 	商品番号 部品名 408-604 クロス受け摺動材(ネジ側)ブラック 408-605 クロス受け摺動材(ナット側)ブラック 400-263 クロス受けプラケット 400-264 ツマミ 400-265 M8フランジクレーター 400-266 キャスター(ストッパー有) 400-267 キャスター(ストッパー和) 400-268 脚和ローラー 400-269 湖和ローラー



※400-274糊タンクA一式(@~@を組立てしたものです。)



【本体・コントローラー】

	商品番号	部品名	使用個数
60	400-285	ノリオケステー	1
6	400-286	カッター定規	1
62	400-287	ツメステーF	1
63	400-288	ナラシローラー	1
64	400-289	糊ローラー	1
65	400-290	ドクターローラー	1
66	400-291	オクリダシローラー	1
6	400-292	マルパイプステー 2	1
68	400-293	ベースステー	1
69	400-294	糊タンクロック	2
60	400-074	ツメF LS	9
6)	409-766	ツメ R	7
62	409-767	ツメ固定具	7
63	400-295	ツメステー R	1
64	409-769	糊厚調整ブラケット 1	2
65	409-770	糊厚調整ブラケット2左	1
	409-771	糊厚調整ブラケット2右	1
66	400-296	パチン錠フック	4
67	400-297	軸受板 1	1
68	400-216	軸受カバー 1 アクアブルー	1
63	400-236	軸受力バー1 スパークリングイエロー	1
69	400-298	糊付ギヤ 1	1
$\overline{\textcircled{0}}$	400-299	テンションギヤ	1
$\overline{\textcircled{O}}$	400-301	ナラシギヤ	1
$\overline{\mathcal{O}}$	409-779	オクリダシギヤ	1
73	400-303	セクターギヤ 左	1
	400-304	セクターギヤ 右	1
1	400-305	糊ローラーブッシュ	2

	商品番号	部品名	使用個数
75	409-783	ロリング	2
76	400-306	糊付ギヤ2	1
\bigcirc	409-785	オクリダシローラーブラケット左	1
	409-786	オクリダシローラーブラケット右	1
18	404-840	E型止輪(呼び径 8)	1
79	400-307	ガイドレール左	1
	400-308	ガイドレール右	1
80	400-309	軸受板 2	1
81	400-217	軸受カバー2 アクアブルー	1
8)	400-237	軸受カバー2 スパークリングイエロー	• 1
82	400-310	糊付ギヤ3	1
83	400-311	ドクターギヤ	1
84	400-312	PCB 補強板	1
85	409-793	PCB 止具	З
86	400-313	糊厚ツマミ	2
87	400-314	糊厚調整レバー(ツマミ付)	2
88	400-315	糊厚調整ギヤ	2
89	400-316	ノリオケ SW 用カム	1
90	409-798	センサー基盤取付キャップ	З
91	400-317	携带端末	1
92	400-213	コントローラー アクアブルー	1
92	400-233	コントローラー スパークリングイエロー	1
93	409-799	AC 変換プラグアダプター	1
94)	400-318	電源ケーブル	1
95	409-800	割込 SW キャップ	1
96	409-801	ストップ SW キャップ	1
97	400-319	キーシート 1	1
98	400-320	キーシート2	1

※黒丸に白文字の番号「●」は、スパークリングイエロー用部品です。



【スリッター】

		•	
	商品番号	部品名	使用個数
99	400-155	カッターボックスセット左・SP	1
	400-156	カッターボックスセット右・SP	1
100	400-321	スリッターレール 1	1
	400-322	軸受板 5	1
1	400-218	軸受カバー 5 アクアブルー	1
ø	400-238	軸受カバー 5 スパークリングイエロー	1
103	400-323	テンションバーバネ	2
104	409-817	スリッターテンションバー用ヒンジ管	2
105	400-160	耳切ガイド左・SP	1
	400-161	耳切ガイド右・SP	1
106	409-820	研磨材	2
	409-821	研磨軸	2

	商品番号	部品名	使用個数		
108	405-909	カッター	2		
109	400-164	スライド固定具・SP	2		
110	409-831	刃幅調整ツマミ	2		
1	400-324	軸受板 6	1		
112	400-219	軸受カバー 6 アクアブルー	1		
ø	400-239	軸受カバー 6 スパークリングイエロー	1		
(13)	400-167	静電防止金具 2 · SP	1		
114)	400-325	スリッターテンションバー	1		
(115)	400-326	スリッター電源コード	1		
(116)	400-327	スリッターレール 2	1		
1	400-328	スリッターフック	2		
118	400-329	カッターカバー	2		
× 5	※里丸に白文字の番号「●」は、スパークリングイエロー田部品です。				

機械のセット

脚部の組立、テンションバーの取付

①脚ロックレバーを手で引き上げながらロック
 を外し、矢印Aの方向に開いてください。
 (第1図参照)



第1図(脚部を折りたたんだ状態)

- ②ツマミを緩め、クロス受けブラケットを矢印
 Cの方向に倒し、ツマミを固定してください。
 (第2図参照)
- ③クロス芯棒を第2図のように設置してください。



第2図(脚部組立状態)

脚部の折りたたみ、収納

脚ロックレバーを手で引き上げながら、矢印D の方向に脚を折たたみ、ロックさせてください。 (第3図参照)





脚を外に開くとき、第1図のB部(4カ所) に手をはさむ恐れがありますので、十分注 意して行ってください。

⚠警告

脚ロックレバーを解除し、脚を外に開くと きや閉じるときは、手をはさむ恐れがあり ますので十分注意して行ってください。

⚠警告

脚を開き組立てるときは、脚が確実にロッ クされていることを確認してください。ロ ックの状態が悪い場合、作業中、脚が倒れて、 けがをする恐れがあります。また、脚を内 側に折りたたみ収納する際、脚が確実にロ ックされていることを確認してください。

⚠注意

脚部組立の際、脚ロックレバーを解除しますと、脚部が フリーの状態になりますので、手や足などにケガをしな いように注意してください。

⚠注意

クロス芯棒軸端部に過度な力が加わると破損の原因になりますので取り扱いに注意してください。

MXE

クロス芯棒は、スリッターに収納できるようになっています。

⚠注意

脚ロックレバーは握ったままの状態ですと、ロックはかかりません。ロックが解除されましたら、脚ロックレバーから手を離してください。組立・収納どちらの場合も同じです。

本体部の取付

- ①キャスターのストッパー(2ヶ所)を下に押し(ON位置)、ロックさせてください。
 ②機械本体を背面より持ち上げ、脚部の上に載せてください。(第4図参照)
- ③パチン錠(4ヶ所)で本体部と脚部を固定し てください。

⚠注意

製品出荷時は、本体部と脚部を逆に取付けてありますの で、正しい位置に取付け直してご使用ください。

⚠注意

本体部、脚部をパチン錠(4ヶ所)で確実に固定してください。

⚠注意

キャスターのストッパーに過度な力を加えないでください。ロック機構の破損の原因となります。

コントローラーの取付

- (1)矢印Aの方向にコントローラーを持っていき、 本体側面のPCB止具(3ヶ所)にコントロー ラー側の切欠穴(3ヶ所)を合わせてください。
 (第5図参照)
- ②セットレバー(コントローラー下部)を矢印 Bの方向に引きながら、糊付けギヤ3とモー ターギヤをかみ合わせた状態で斜め下向きに スライドさせ、コントローラーが完全に機械 本体にロックされたところでセットレバーを はなしてください。コントローラーを上に引 っ張っても外れない状態が完全にロックされ た状態です。

コントローラーの取り外し

コントローラーのセットレバーを矢印B方向に 引きながら斜め上向きにスライドさせるとコン トローラーは取り外せます。

⚠注意

ください。

安全の為にコントローラーは、本体から外すと動作しないようになっています。 故障ではありませんので本体にセットして動作確認して 取手 本体部 ルチン錠(4ヶ所) キャスター ストッパー(2ヶ所)

第4図



⚠警告

コントローラーの着脱を行うときは、必ず 電源を切ってください。 誤って動き出すと けがをする恐れがあります。

⚠注意

機械本体にコントローラーが正しくセットされていないと、 コントローラーを落下したり、ギヤが破損するなど故障 の原因となることがあります。

また、運転中にセンサーエラーを表示したり、設定長さ よりもクロスが長く出たり、動かなくなったりすることが あります。

スリッターの取付

①スリッターを機械本体の背面に取付ます。 スリッターフックをマルパイプステーの両 サイドにあるフック摺動材に引っかけス リッター軸受け板を本体の背面に入れま す。(第6図、第7図参照)

②少し持ち上げた状態で奥まで入れロックがか かると収納時の位置になります。

(第8図参照)(出荷時はこの状態になっています)

- ③少し手前に引いてロックを外し、ゆっくり手 前に引くとセット時の位置決めの溝に当たり ます。その位置でスリッターを下方向に押す とロックがかかり糊付時の状態にセットでき ます。(第9図、第10図、第11図参照)
- ④コントローラー背面のスリッター電源にスリ ッター電源コードを差し込みます。 (第12図参照)

スリッターフック



第6図 スリッターフックをかけます。



∧ 警告

⚠警告

▲注意

∧注意

落下する恐れがあります。

スリッターの取付けを行うときは必ずコン

トローラーの電源を切ってください。誤っ

て動き出すとけがをする恐れがあります。

スリッターを取付けるときに刃物で手を切

スリッター取付時、スリッターの上部、下部が左右とも

確実に固定されていることを確認してください。固定

が不十分な場合、スリッターが正常に動作しなかったり

スリッターを本体から取り外す際は、事前にスリッタ

一電源コードをコントローラーから外してください。

らないように注意してください。

第7図 スリッターフックを少しうかせます。



第8図 奥まで入れてロックする。 (収納状態)(出荷状態)



第9図 ロックを外し外側へ開きます。





第10図 ゆっくり開きセットの位置で止め ます。



第11図 下方へ押してセット完了します。



作業準備



クロス原反のセット

 御部のツマミを緩め、クロス受けブラ ケットを手前に引き出し、ツマミを確 実に締め込んでください。

(第13図参照)

- ②クロス原反にクロス芯棒を通し、クロ ス側板で両側からはさみ込みます。
- ③クロス芯棒の溝部をクロス受けブラ ケットにはめ込みます。クロス受けブ ラケットとの間隔が左右同じとなるよ うにクロス原反を中央にセットし、ク ロス側板で両側から固定し、ネジで確 実に固定してください。なお、クロス 側板と原反はすき間がないように固 定してください。

⚠警告

クロス原反にクロス芯棒を通す際、またクロス受 けブラケットにセットする際等、手をはさんだり、 原反を落下させ、けがをされないよう十分に注意 してください。

⚠注意

クロス側板はクロス原反に密着して固定してくだ さい。密着していないと壁紙が原反から緩む原因 となります。

⚠注意

クロス受けブラケットのツマミは確実に締めつけてください。 締まっていないと壁紙が蛇行する場合があります。

⚠注意

クロス原反を中央にセットし、スリッター裁断目盛を左右同じに してもクロスの耳くずの幅が左右同じにならない場合は、クロ ス原反を耳くずの幅の狭い方へ少し移動してください。



カットテープのセット

- ①カットテープの紙管内にテーブ芯を入れた後、 テープ芯の穴にテープ芯棒を通し、テープ側 板で両側からはさみ込みます。
- ②これを脚部上側部の穴に差し込み、蝶ナット で確実に締め込みます。(第14図参照)
- ③第14図に示すようにテープガイドを糊タン ク前面の所定の位置に上から差し込んでく ださい。
- ④機械本体のパンチ錠2ヶ所をはずし、上部フレームを開きます。ツメステーFとナラシローラーを持ち上げ(同時に持ち上がります)、カットテープを下にしてナラシローラー、ツメステーFを元に戻します。
- ⑤テープを第14図のAの方向に引き出し、 上部フレームを閉じ、機械本体のパンチ錠 2ヶ所を止めます。

⚠注意

ナラシローラーのカットテープ通過部分に糊が付着している場合、必ず糊を拭き取ってからナラシローラーにカットテープをAの矢印方向でセットしてください。糊が付着しているとカットテープがナラシローラーに巻き込んだり、カットテーブがクロスに曲がって付く場合があります。

⚠注意

テープの種類によっては、巻が太く、取付ける際、本体に 干渉したり、あるいは脚部を折りたたんだ際、床に接触す る場合がありますので、ご注意ください。

MXE

カットテープはテープガイドの真下の位置にセットしてく ださい。

エメモ

カットテープのテンションはテープ側板のあて方で調整してください。



糊の供給

- ①糊タンクロックを上に上げます。
 ②糊タンクを手前より僅かに持ち上げた後、 ガイドレールに沿ってゆっくり引き出し (約7cm)、固定位置で止めてください。 ガイドレールには、固定のくぼみがあります。 (第15図参照)
 ③引き出した糊タンクの上から、糊を糊タンク の中全体に広がるように入れます。
- ④糊タンクを手前より僅かに持ち上げた後、 ガイドレールに沿ってゆっくり押し込み所定 の位置に固定してください。

糊重量センサ-



ガイドレール



第15図

糊タンクロック

糊タンク

糊厚の調整

本機正面の糊厚調整レバー(左右各1ヶ所)を 上下することにより、糊ローラーとドクターロ ーラーの間隔が変化しますので、最適な目盛位 置にセットして糊厚ツマミを締めてご使用くだ さい。尚、糊を入れ運転させながら行うと糊厚 調整は容易です。(第16図参照)



第16図

▲注意

糊厚調整レバーはラベルの目盛範囲内で動かす ようにしてください。無理に動かしますと機械 の故障原因となります。

⚠注意

ツメステーFの両側に「糊タンクロック」が装備されて います。「糊タンクロック」は運搬や移動の際、振動等に より「糊タンク」が前面に出ないよう事前にロックする 機構です。

- ・糊タンクを引出す場合→上に上げた後、糊タンクを 引き出してください。
- ・運搬や移動をする場合→下に下げた後、運搬や移動 してください。

⚠注意

糊を供給する際は、糊タンクをガイドレールの固定くぼ みで止めて行ってください。糊タンクを引き出し過ぎる と床に糊がタレたり、糊タンクが外れたりします。

⚠注意

接着剤の種類や希釈する際の水の添加量や希釈方法、 希釈後の時間、あるいは気温等の環境条件等により接 着剤の粘性が違います。最高スピードで運転しても糊 があふれない程度に入れてご使用ください。入れすぎ ると糊が手前からあふれ出します。

目安として、糊タンク両サイド内側のリブ以下になる よう糊を入れてください。

エメモ

コントローラで糊重量センサーをONにすると、糊タンク 内の糊量が少なくなるとE(Empty)の表示が点滅し、警 報音で知らせる事ができます。(参照P30)

⚠注意

右側のガイドレールには重量センサーが付いています。 (第15図参照) 糊等が付着しますと、誤動作する恐れがありますので、汚 れた場合、水を含ませた雑巾等で拭き取ってください。

⚠注意

糊厚を絞った状態で、空運転しないでください。異音が発 生したり、機械が故障する場合があります。

⚠注意

出荷時、糊厚が左右同じになるように調整しています。 しかしながら、実際に糊付けした状態では、左右の糊付 量に若干違いが発生する場合があります。 その場合は糊付け状態を確認しながら、本書P37を 参考に調整してください。

⚠注意

整してください。

高粘性の接着剤を糊付けした場合、壁紙の種類によっ ては糊タンク内に糊が残存していても、糊切れを起こ したり、糊付有効m数が減少する場合があります。 特に高粘性の接着剤で糊厚を絞り、糊付スピードを早 くした場合、発生しやすくなります。 その場合は、適度に粘性をゆるめたり、若干糊厚を増 やしたり、あるいは糊付スピードをゆるやかにする等調

16

ツメ位置の調整

ツメの位置が悪いとクロス巻き込みや異音の 原因となります。作業前に確認・調整を行って ください。

ΨХR

ツメRは先端が糊ローラーの溝の底に少し触れる程度に 調整してください。又、糊ローラーの縦溝(7本)に各々の ツメBが溝から出ない位置にビスで固定してください。

ツメF

ツメFはナラシローラーに触れない程度に手で回し調整 してください。



裁断幅の調整

- ①スリッターの刃幅調整ツマミ (左右各1ヶ 所)を時計の針と逆方向に2回転ほど緩め るとカッターボックスを左右にスライドす ることができます。
- ②カッターボックス内のAのラインがスリッ ターの刃の位置を示しています。Aのライ ンをスケールプレートの所要寸法位置にあ わせ、刃幅調整ツマミを締めてください。 (第17図参照)



∧注意

ツメの位置が悪いと、動作時、ツメがローラーに当り、 **異音が発生する事があります**。

∧注意

壁紙の種類によって表装面が異なり、オサエローラー やドライブローラーの溝により表装面を押さえて異音 が発生する事がありますが異常ではありません。

m x f

ツメは消耗部品ですので、破損や磨耗が大きい場合、 新しいものと交換してください。 ※ツメF、ツメBは各2個予備として付属しています。

AXT

ツメFを下方向に強く回すと、ツメステーよりツメFを取 り外すことができます。また、新しいツメFを取付ける場 合は、ツメステーに強く押し込んでください。

∧ 警告

本製品は刃物に触れることがないよう安全 には配慮しておりますが、刃物で手を切っ たりしないよう取扱いには十分に注意して ください。

∧ 警告

裁断幅の調整は必ずコントローラーの電源 を切った状態、或いはスリッター電源コード をコントローラーから外した状態で行ってく ださい。誤って動き出すとけがをする恐れ があります。

∧注意

カッターボックスは壁紙裁断時、切りくずやほこりが排 出しやすい構造になっています。しかしながら裁断状 況により、カッターボックス内に切りくず等が蓄積した 場合、切れ味が悪くなります。その場合、竹串等で内部 部品を傷めないよう慎重に取り除いてください。その際、 必ずコントローラーの電源を切るか、或いはスリッター電 源コードをコントローラーから外してください。又、カッ ターボックスは分解しないでください。

糊付作業手順

糊タンク内に糊が入っている状態を確認して ください。

 スリッターテンションバーを手前に引いておき ます。(矢印A)

テンションバー3を脚部にセットします。

NEWテンションバー2は、NEWテンションバ ー1を押さえ込み左右のテンションブラケット のガイドピンを外し、開口部を広くします。

(矢印B)(第18図参照)

- ②本体のパチン錠2ヶ所を外し、上部フレームを 開けてください。
- ③コントローラーの電源をONにし、運転させると、 スリッターの刃物が回転します。
- ④クロスを引き上げ、テンションバー 3、NEW
 テンションバー 2、1、カッターボックス、本
 体部の順に通した後、運転を停止させます。
 (P19 第19図参照)
- ⑤スリッターテンションバーを矢印Cの方向に閉 じた後、クロスの耳を引き出します。

(P19 第20 図参照)

- ⑥上部フレームを閉じ、パチン錠2ヶ所を締めて 確実にロックさせます。
- ⑦ NEWテンションバー2は原反の状態により、
 矢印Dの方向にセットします。
 (P19 第20図参照)



⚠警告

本製品は刃物に触れることがないよう安全に は配慮しておりますが、刃物で手を切ったりし ないよう取扱いには十分注意してください。

⚠警告

運転中、ローラー、ギヤ等に手や衣類を巻き 込まないよう十分注意してください。

⚠警告

上部フレームを閉めるときは、手をはさま ないよう十分注意してください。

⚠注意

NEWテンションバーにはバネが内蔵されており上へはね 上がる構造になっています。

⚠注意

NEWテンションバー2を外す際は、NEWテンションバー 1を押さえ込んで外してください。

⚠注意

壁紙の種類によっては、重い材料や材料強度の弱いものがあり、 テンションバーをかけることにより壁紙が上らなかったり、ある いは壁紙やテンションバー等を傷める場合があります。このよ うな場合、予め試験使用し、状態によってはテンションバーの使 用を避けてください。

⚠注意

スリッターでクロスの耳を裁断時、クロスのセット方法が悪いとまっすぐ切れなかったり、切れ味が悪い場合があります。 クロス原反の位置、スリッターのカッターのカッター位置を 左右同じにセットし、クロスは左右たるみが出ないよう原反 を抑えながら機械に引き込んでください。

⚠注意

アクアコーターはスリッター精度向上の為テンション のかかりやすい構造にしてあります。壁紙正反の場合 や重い原反の場合、モーターに負荷がかかりますので NEWテンションバー2は、原反の巻が少なくなった場 合にご使用ください。

ぬメモ

壁紙の種類や状態によっては、耳裁ちの必要が無い場合があり ます。耳裁ちしない場合はスリッターを取り外すか、スリッター テンションバーを手前に引いてセットし、カッター部を通さず、 スリッターテンションバーの手前にクロスを通します。

MXE

NEWテンションシステムにより、壁紙がセットしやすくなりました。(P19 第19図、第20図参照)



<クロスを挿入する時の状態>







スリッター背面中央上部に壁紙検尺車輪が付いています。壁紙 の裏面の検尺を行うので壁紙の種類による寸法誤差が少なく 正確な採寸を可能にしています。ピンチロールより原反側の位 置で検知し機械を停止します。検尺機構の停止を検知し壁紙が 無くなる前に機械を自動停止し最後の1枚まで有効に活用出来 ます。糊付した壁紙が手前に落ちる心配がありません。

MXE

スリッターを取り外した場合、本体の検尺 ローラーにて壁紙の検尺を行います。スリッ ターを外した状態での糊付作業も可能と なっています。



壁紙を通してスリッターテンションバーを矢印方向 へ閉じます。

▲ 注意 スリッターテンションバーを閉じていないと誤作動する恐 れがあります。

セット完了です。 壁紙の端末が通過すると機械は停止します。

糊付け作業

- ①糊付け作業を始める際、操作パネルの**寸動**を
 使用し、クロスに糊がついている部分が切断
 位置より少し長めになるように送ってください。
 ②カッター定規に添わせてカッターを走らせ、
- 長めに出したクロスをカットしてください。 これでセット完了となります。
- ③操作パネルにて、クロスの長さ設定を行い本 機を運転してください。操作パネルの使用方 法はP22からP34をご覧ください。



⚠警告

糊付け運転中、ローラー、ギヤ等に手や衣 類を巻き込まれないよう十分注意してくだ さい。

⚠注意

カッターにて裁断する際、必ずカッター定規に沿わせ て裁断してください。

ЖХE

本機は糊付スピード、寸動スピードおよび割込運転ス ピードをそれぞれコントローラーアプリで任意に設定す ることができます。糊付スピードはスタートを押しての 運転中、あるいは運転していない時に、寸動スピードは す動を押し続けての運転中、あるいは運転していない 時に割込運転スピードは割込スイッチで運転中、あるい は運転していない時にそれぞれアプリ画面からお好み のスピードに設定することができます。(参照P24) コントローラ単体では糊付スピードは14段階のスピー ド表示で"10"、寸動スピードは"5"、割込運転スピードは "10"の固定のスピードとなります。

ぬメモ

作業終了時、丸パイプステーにてクロスをカットすると 便利です。

ウェイトローラー

壁紙両端の糊付不良を抑えます。

壁紙によっては糊を塗布すると極端に横延びす る物があります。このような壁紙を機械にセット したまま放置するとノリローラー手前でたわみ が発生し、ノリローラーに密着せずに出てきます。 結果、両端の一部に糊が付かない部分が発生し ます。

ウェイトローラーはたわんだ部分を強制的にノリ ローラーに密着させる機構です。(図21参照)

ウェイトローラー2 ウェイトローラー 20 第21図



第22図



壁紙をセットし、上蓋を閉じてください。 壁紙 両端と両サイドのウェイトローラー2の端面が ほぼ同じになるように移動します。 (図22参照) ウェイトローラーを奥に倒して (両端を持って 倒してください) セット完了です。 (図23参照) (上蓋を開けるとウェイトローラーは手前に移 動します)



第23図

コントローラーの操作方法



割込スイッチ

壁紙をセットする場合や、カウントに関係しない運転をしたい場合に使用します。 一度押すとON、もう一度押すとOFFになります。





コントローラーパネルのキースイッチ部分をカッター等の尖ったものや、ツメの先 で押さないでください。故障の原因となります。





コントローラーは危険防止のため、本体から外すと動作しなくなります。本体にセ ットして動作確認を行ってください。



液晶画面に異常があった場合や動作に異常があった場合は一度電源を切り、しばら くしてから電源を入れてください。 異常が修復できない場合はメーカーにご連絡ください。





MXE)

携帯端末がコントローラーに接続されている状態でコントローラーの電源をONにすると自動でア プリが起動します。またコントローラーの電源をOFFにすると自動でアプリが終了します。

⚠注意

糊のついた手で画面をタップすると誤動作する恐れがあります。手をきれいにしていただくか外部キーによる操作を行ってください。

コントローラーアプリは、次の2つのモードに従って操作する事ができます。

通常モード ···· 各種設定をその都度入力していく通常の糊付け作業方法 プログラムモード ··· 予め設定しておいたプログラムデータに基づいて順に糊付けしていく作業方法

操作方法·1

通常モード

- 糊付設定をタップします。背景がピンク色になり画面にテンキー が表示されます。
- 御付したい数字を入力しOKをタップしてください。押し間違えたときはACを押してください。
 (図は235cmが入力してあります。)
- ③ 枚数をタップしてください。背景がピンク色になりテンキー表示 されます。
- ④ 糊付けしたい枚数を入力しOKをタップしてください。
 (図は5枚を入力してあります。)
- ⑤端末画面のスタートをタップするかもしくはコントローラー本体のスタートを押すと糊付けを開始します。糊付けが進むにつれ、 糊付量がカウントされ235cmになった時点で、糊付けが停止します。
- ⑥ 停止すると、枚数表示が4枚となります。
- ⑦この後⑤と⑥の作業を繰り返します。枚数が1枚ずつ減ってい き、枚数が0枚になった時点でスタートを押しても機械は動かな くなります。
- ●枚数に関係なく糊付けする場合は枚数をタップしてカウントの表示状態でOKをタップします。この 後スタートで糊付けし、設定値に達するとカウントが加算されます。

⚠注意

糊付け設定を変更するときは**リセット**を押して糊付量表示をOcmにしてから行ってください。 糊付量表示値よりも大きい値を設定し**リセット**を押さずにスタートしますと、前回の糊付量表示値 からのスタートになりますので、設定値よりも表示値分が短くなります。

(MXE)

本機は糊付スピード、寸動スピードおよび割込運転スピードをそれぞれ任意に設定することができます。 糊付スピードは**スタート**を押しての運転中、あるいは運転していない時に設定します。 寸動スピードは**寸動**を押し続けての運転中、あるいは運転していない時に設定します。 割込運転スピードは割込スイッチで運転中に設定します。 各設定は画面下の**スピード**で設定してください。 画面下部に現在のスピードの目安が表示されます。 運転のスピードはLow、2、3~12、13、Highの14段階で表示されます。





端末画面上中央のプログラムをタップしてください。プログラムの画面に変わります。

[プログラムの設定値入力]

- 1・プログラムNoが1/1の表示で糊付設定をタップし、 設定値を入力し、OKをタップします。
- 2·枚数をタップし、設定枚数を入力し、OKをタップします。
- 3・プログラム2(2/2)にするには、プログラムNoの右 矢印をタップします。
- 4・上記1・2と同様の操作をし、プログラム2を入力します。
- 5・上記1~3に習ってプログラム3・4…と設定します。

[登録したプログラムの実行]

プログラムNoの**左矢印**をタップしNo1からスタート・リセットで登録した順番に糊付けをしていきます。 すべてのプログラムが実行されるとスタートを押し ても糊付けは行いません。

[プログラムの設定確認・修正]

プログラムNoの左右の矢印をタップして任意のプログラム番号を確認できます。

(mxt)

プログラムモードでも外部キーによる糊付設定、枚数設定は可能ですがプログラムNoは変更できませんので注意してください。

[プログラムを削除するには]

削除したいプログラムNoを選択し、画面のリセットボタンを長押しします。 OKをタップするとプログラムNoが削除され、次に設定していたプログラムがそのNoに入ります。 削除を中止する場合はOKではなくキャンセルをタップしてください。

[登録済みのプログラムを全てクリアするには]

初期設定画面でプログラム全消去をタップします。(参照P30) OKをタップするとプログラムはすべて削除されます。プログラムの全削除を中止する場合はOKで はなくキャンセルをタップしてください。

(mxt)

画面左側の矢印をタップするとプログラムの一覧を見ることができます。任意のプログラムをタップ して呼び出せます。設定値の確認や修正をしてください。



外部キーによる糊付設定

携帯端末下部にある外部キーによる数値入力が可能です。(参照22P)

- 1・糊付設定画面で外部キーのSETを押します。 図のように入力待ちの状態になります。
- 2·左右キーで桁を選択し上下キーで数値を選択しま す。白抜きになっている桁で上下キーによる数値の 入力が可能です。
- 3・糊付設定後SETキーを押すと枚数設定に移動します。
- 4.枚数を上下左右キーで決定しSETを押します。
- 5・通常の画面に戻りますのでリセット、スタートで糊 付けをすることができます。

⚠注意

外部キーによる入力待ちの状態では糊付設定、枚数をタップしても入力できません。SETキーを押して入力待ちの状態を解除しください。

、コントローラー本体のみの糊付

携帯端末を接続していない状態でもコントローラー本体のみによる糊付けが可能です。

1・コントローラーの**左矢印**を押すと数値が点滅します。数値 が点滅状態で変更が可能になります。

2·上下矢印ボタンで数値を決定します。

- 3・次の桁の数字を変更するときは左矢印を押し次の桁に移動します。桁の移動は左右の矢印で移動が可能です。
- 4·2·3の操作で設定値を入力します。
- 5・数値を設定し**リセットボタン**を押すか、または左端の数字 が点滅している状態で左矢印を押します。数値が点滅しな い状態になり糊付設定が完了しました。
- 6・糊付設定後スタートボタンを押すと糊付開始します。糊付 が進むにつれてセグメントの数字がカウントダウンしてい きます。数値がOになると糊付が自動停止します。数値がO の時はスタートボタンを押しても機械は動きません。
- 7・リセットボタンを押すと糊付設定した数字に戻ります。
- 8・数値0の状態です動を押すと左端にマイナスの表記が出てカウントアップしていきます。
- 9・セグメントに数値が入力されている状態でのす動を押すと糊付時と同様にカウントダウンしていきます。

MXE)

コントローラー本体のみでは糊付けスピード、寸動スピード、割込み運転スピードはすべて固定となっています。糊付スピードは14段階のスピード表示で"10"、寸動スピードは"5"、割込運転スピードは "10"の固定のスピードとなります。

⚠注意

コントローラー本体のみでは枚数設定ができません。また履歴機能がないので糊付設定値や枚数を 控えてください。







時計をタップすると時刻を表示する時計画面になります。時計画面はカレンダーも表示し年・月・日付も表示します。糊付作業をしていない場合、自動的にこの画面に切り 替わります。



日付毎に当日の糊付トータルを表示します。また日付を選択して各当日トータルを 集計することも可能です。

このデータは過去3ヶ月分保存しており、古くなったデータから順に消去します。

期間の集計の方法

1・集計したい日付をタップします。 2・集計したい日付を順にタップします。 3・集計が画面上部に表示されます。



下記画面での例(11/21、11/26、11/27を集計する)

1・画面の11/21をタップします。

2・1と同様に11/26、11/27をタップします。 色の変わった部分の集計が画面上部の集計に表示されます。



服祭		A 💷 🥵	5% 7:57
MR(1	7' 09' 1	NL D	iit
集計		966	1 cm
日時		当日トータ	716
2014/11/20	192	21	77 cm
2014/11/21		52	15 cm
2014/11/25		33	42 cm
2014/11/26		25	10 cm
2014/11/27		19	36 cm

糊付画面から時計画面へ自動的に変わるまでの時間設定と時計設定を行います。 また、糊タンク重量センサーの設定やデータの保存などが行えます。



[糊タンク重量センサー設定]

時計画面表示時間 場付画面で設定した時間だけ停止していると 時計画面に自動的に切り替わります

糊タンク重量センサー 糊タンク内の残量をセンサーが感知し 少なくなると糊付面面に[E](Empty)が 表示されます

重量センサー設定時

時計画面表示時間 樹村画面で設定した時間だけ停止していると 時計画面に自動的に切り替わります

糊タンク重量センサー ^{糊タンク内の残量をセンサーが感知し 少なくなると糊付画面に[E](Empty)が}

少なくなると糊付画面に[E](Empty)が 表示されます

重量センサー解除時

⚠注意

重量センサーは粘度の違いや、糊付スピー ドの違いによって多少反応する重量が異な ります。糊を供給する目安としてご使用く ださい。 糊タンク内の残量を重量センサーが感知し 少なくなると警報音が鳴り、糊付画面もし くはプログラム画面に E(Empty) が表示さ れます。

設定方法

1・初期設定画面の糊タンク重量センサーを タップします。

2・ 糊タンク重量センサーの横にチェック マークがついたことを確認します。

設定解除

初期設定画面の糊タンク重量センサーを タップします。横についていたチェック マークが消えたことを確認します。

⚠注意

重量センサーは糊タンク内の糊量が少なくなると警報音が鳴ります。糊を投入するか初期設 定画面で設定解除しないと、糊付作業の度にEマークの表示と警報音が鳴ります。 製品出荷時は重量センサーは解除しています。機能をご使用の際は、重量センサーを設定してください。

【時計画面表示時間】

時計画面2 場付高面で22 時計画面に自	見示時間 定した時間だけ停止していると 動的に切り着わります
期タンク 単タンク内の 少なくなると 表示されます	2 型センサー 残量をセンサーが感知し 相付画面に[E](Empty)が
時計画面表示	示時間
なし	
なし 60秒	¢
なし 60秒 180秒	c c
なし 60秒 180秒 300秒	c

糊付、プログラム画面で設定した時間だけ停止している と時計画面に自動的に切替わります。初期設定画面の 時計画面表示時間をタップすると左の画面が表示され ます。設定する時間を決めてタップしてください。初め の状態では表示時間は**なし**が選択されています。

⚠注意

枚数、糊付設定のテンキー表示中、また補正値、残量の設定中に時計画面表示時間まで停止しても時計画面 には切替わらないのでご注意ください。

【端末検知機能】



糊付作業中に壁紙がなくなると端末(壁紙終了)を検知 して自動停止し、糊付量のカウントがストップします。

【端末検知後の寸動ボタンによる運転】

壁紙の端末を検知した後に寸動ボタンのみによる運転 が可能です。左記の画面表示後OKをタップした後に寸 動ボタンのみによる運転が可能です。寸動ボタンのみ の運転を解除する場合はリセットボタンを押し新しい 壁紙をセットし、スタートを押せば、糊付作業を再開で きます。

【コントローラー単体での表示】



⚠注意

実際の糊付量とカウント数では、誤差が生じます。

⚠注意

スリッターテンションバーが閉じていない状態で運転 すると壁紙がセットされていても検尺車輪が回らず端 末検知が発生します。必ずスリッターテンションバー を閉じて糊付作業を行ってください。





Image: 100 miles 7 00 miles Miles 7 00 miles 1 00 miles 1 00 miles 7 00 miles 0 0 miles 1 0 0 miles

【補正機能】

クロスの種類によって、多少設定長さに対して長く出たり、短く 出たりすることがあります。

このような場合に、クロスの糊付け長さを割合で補正する機能です。

- 1・糊付画面、もしくはプログラム画面の補正値をタップします。 この時補正値の設定画面が表示されます。
- 2・画面上の数字を上下にスライドし補正値を設定します。補 正値は-2.0%~+2.0%の範囲で設定できます。
- 3・OKをタップすると補正値が入力され画面に表示されます。

補正機能の解除

補正の設定値を0.0%にしてOKをタップすれば補正値は解除 されます。

【残量設定】

ポンプを使用しない場合の糊タンク内の残量や壁紙の残量等 予め設定値を入力し、設定値まで糊付を行ったら警報がなりそ れぞれの残量の目安になります。

- 1・糊付画面もしくはプログラム画面の残量をタップします。残量設定用のテンキーが表示されます。
- 2・画面をタップし数値を入力します。(図は50と入力した状態 です)
- 3・OKをタップすると残量値が入力され画面に表示されます。
- 4・ 糊付作業を進めるに従い、糊付画面の残量が減っていきます。
- 5・設定値まで糊付を行ったら警報音が鳴ります。

残量機能の解除

残量設定用テンキーで×もしくはACをタップし数値が入力されていない状態でOKをタップすると残量値は解除されます。

【電卓機能】

通常の計算機と同じ使用方法です。数字の入力は画面の数字 をタップして入力します。

画面上の項目をタップするとそれぞれの画面に戻ります。







【エラー表示画面】

入力電圧異常

電圧が70V以下もしくは130V以上の場 合、適正な電圧では無い為、左記エラーを 表示し、コントローラーを停止します。適正 な電圧で再度作業してください。

【コントローラー単体での表示】



過負荷異常

ギヤ・ローラー等に噛み込みや巻き込み等 があり、コントローラーのモーターに過負 荷がかかった場合、左記エラーを表示し、コ ントローラーを停止します。原因を取り除 き再度作業してください。





センサー読込み異常

糊付け運転中、上部フレームのパチン錠が 閉められていない場合、コントローラーが 本体に正しくセットされていない場合、ある いは、センサー部分に異常があった場合に 左記エラーが表示します。 (本体側センサーケーブルに水や糊が付着

(本体側セノリークーノルに水や砌か)1症していないか等も確認してください)

[アクアコーターデータ保存方法]

アクアコーターのコントローラーは履歴データを携帯端末に保存することが可能です。

データ保存、確認手順 右記画面の流れに沿って作業を行います。 (※初期設定画面より保存します)

初期設定画面のデータ保存をタップします。 データの保存が完了すると右図のメッセージが 表示されるので OK をタップします。

携帯端末内に保存できる容量が残っていない状 態の時にエラーメッセージが表示されます。

データの確認

- 1.携帯端末をパソコンに繋ぎます。
- 2. 画面の「ファイルを表示する」をダブルク リックします。
- 3. 「内部ストレージ」をダブルクリックします。
- 4. [Download] をダブルクリックします。
- 5. データを保存した日付のファイルがフォル ダ内に保存されています。

	総タンク重量す 利タンク内の該里を 少なくなると統付き 表示されます	マンサー Stoンサーが感見 MISTAC (E)(Empty)	16 ¥
	データ保存 内部ストレージにI 保存されたファイン 続して確認してくた	1日データを保存 VはAndroidをパ どさい	んます ソコンに極
联 思 /mr	■ス ファイルを保存 it/sdcard/Down	¥しました。 iload/DT141	206.CSV
		ок	
	総タンク重要4	z`z#=	
	相クンク内の残量で 少なくなると期付け 表示されます	E センサーが感知 毎回に[t](tmpty)	10 V 15
	データ保存 内部ストレージに 保存されたファイ 続して確認してく1	星歴データを保た しはAndroidをパ どさい	んます ソコンに接
履き 内容 ださ	Eファイルの保存 BストレージのE Sい。	学に失敗しま 空き容量を確	した。 思してく
		ок	
	/		
自動再生			082
3	0511		
E 200	バイスの場合は常い	:次の動作を行う:	
7/(4	スオプション		
01	Windows Media Playe	ADM ADM	10128-9
12	714スを聞いてファイル4 10.570-3-16月	LAT YO	
	内部ストレー	-9	
0	3		
_	空音領域 4.	32 GB/4.42	GB
	1-22		

.CSV

▲ 注意 保存が完了してもデータの破損やパソコンでの読み取り不良等予期せぬ故障も考えられますので、保存内容を 確認するまでアプリ内のデータを消去しないでください。

(AXE)

保存したデータはパソコンに取込み納品書・請求書の作成にお役立てください。

本体部の掃除・手入れ

掃除・手入れの程度が機械の性能と寿命に大きく影響しますので、糊付作業が終われば 以下の掃除及び手入れを行ってください。

本体部の掃除

- ①機械本体を空運転させながら糊厚調整レバー を絞って糊ローラーとドクターローラー表面の 糊を糊タンクに落とします。
- ②糊付機械を停止させた後、上部フレームを 開き、コントローラー、スリッター、オク リダシローラー、ツメステーR、ツメステー F及びナラシローラーを機械本体より取り 外してください。(第24図参照)
- ③取り外したツメステーR、ツメステーF及 びナラシローラーは、スポンジ等を使用し て水洗いしてください。
- ④機械本体より糊タンクを完全に引き出し、糊 タンクの中の糊を糊バケツに戻します。
- ※糊タンクを引き出す際に糊ローラーより糊が床に 垂れることがありますので、予め床に養生しておい てください。
- ⑤糊タンクから糊上げローラーを外し(P36 第25図参照)、スポンジ等を使用して糊上げ ローラーを水洗いしてください。この段階では、 糊タンクは完全に洗浄せず、ゴムベラで掻き 落せる分だけ糊を落します。
- ⑥糊上げローラーを外した状態で糊タンクを機 械本体にセットします。
- ⑦手で糊ローラーを回転させながら、糊ローラ
 一及びドクターローラーをスポンジ等で水洗
 いしてください。(P36第26図参照)
- ⑧再び機械本体から糊タンクを完全に引き出し、 糊タンク内を洗浄します。

⚠警告

機械本体を洗浄するときは、コントローラー、 スリッター及びオクリダシローラーを取りは ずして行ってください。ローラーの間に手や 衣類を巻き込んだり、スリッターの刃物で手 を切ったりするなどの思わぬ事故を未然に 防ぎます。



糊ローラー、ドクターローラー表面の糊は完全に除去してください。薄い膜状に糊が残っているだけで糊付け状態が悪くなることがあります。又、オクリダシローラー、検尺ローラーについても糊が表面に残っていると、表面にひび割れを起こし、 正常な運転をしなくなる恐れがあります。





第25図

第26図

- ⑨糊上げローラーを糊タンクに取付け、機械 本体にセットします。
- ⑩スリッター、コントローラー、オクリダシロー
 ラー、ツメステー及びナラシローラーを機械
 本体に取付けてください。
- ①洗浄後、乾いた布等で水分をよく拭き取ってください。また、脚やフレーム等に付着した糊もきれいに拭き取ってください。

機械の手入れ



⚠注意

センサー基板の部分には水や糊をかけないようにして 下さい。万一かかった場合は、雑巾などで拭き取り乾燥 させてください。

⚠注意

機械本体を洗浄するときは、コントローラーとスリッタ ーを取り外して行ってください。第27図のようにホー スなどで水を直接コントローラーやスリッター等に掛 けないようにしてください。汚れを落とすときは固く絞 った濡れ雑巾をご使用ください。水が掛かった場合に は水分をよく拭き取ってください。

MXE

定期的にローラーの軸受部やギヤ部にグリースを注入 したり、ギヤの歯に固まってついた糊を落としてくださ い。運転中の異音の発生を防ぐとともに、常に機械を スムーズに運転させることができます。

コントローラー

第27図

機械の調整・点検



本機には、糊厚調整工具、ピンチ圧調整工具(ソケット、L型レンチ {2.5 m,3.0 m})が 付属されています。本機の調整点検には、ドライバー(+)等が必要ですので、事前に 市販の工具(ドライバー等)を準備してください。

1.糊ローラーとドクターローラーの クリアランス調整

[糊が絞れないときの調整]

(糊付機械に糊が入っていない状態で行うと容易です。) ①左右とも糊厚調整レバーを目盛0の位置に あわせ、糊厚ツマミを締めます。

- ②左右とも六角穴付止ネジをL型レンチ(3mm) で緩めてください。
- ③第28図のように、糊付けギヤと軸受板の間にある糊ローラーブッシュ六角部に付属の糊厚調整工具をはめ込み、矢印の向きにゆっくり動かしてください。糊ローラーが移動します。
- ④ローラーを手で回しながら、糊ローラーと ドクターローラーのすき間がOmmの位置で、 六角穴付止ネジを確実に締め込んでください。

[左右で糊付量が違うときの調整]

- (糊付機に糊を入れた状態で行うと容易です。)
- 例:左側を右側と同じ目盛にあわせる場合
- ・①左右とも糊厚調整レバーを同じ目盛にして、 糊厚ツマミを締めます。
- ②左側の六角穴付止ネジを緩めて、第28図の ように糊厚調整工具を使って、糊ローラーを 移動させます。
- ※矢印の向きに動かすと糊が絞れ、反対の向きに動か すと糊が多くつくようになります。
- ③割込みスイッチで運転させて、 糊量を確認してください。
- ※壁紙等で実際に糊付け確認すると、より正確に調整 できます。
- ④左右のバランスが同じになったところで六角 穴付止ネジを確実に締め込んでください。



▲警告

コントローラーは取り外した状態で調整 してください。

⚠注意

糊ローラーとドクターローラーは強く接触させないで ください。接触させるとローラー表面が傷つき、糊付け 状態が悪くなります。

⚠注意

左右の糊付状態を確認する時は、必ず上ブタを閉めて ください。 上ブタが開いていると、実際の糊付状態と異なる場合 があります。

2.検尺ローラーのピンチ圧調整

(クロスの蛇行調整・クロス原反があがらないとき) クロスが蛇行する場合やクロス原反が上が らないときは、付属のソケットで本体軸受板 (3、4)の六角ナットを緩めてからピンチ圧調 整用バネ止メネジ(六角穴付)をL型レンチ (3mm)で回してピンチ圧を調整してくださ い。(第29図参照)

[例]

クロスが、糊付機械正面からみて左側に寄って出 る場合

糊付機械正面からみて右側のピンチ圧調整用 バネ止メネジ(六角穴付)をL型レンチで緩め てください(時計逆方向)。又は左側のピンチ圧 調整バネ止メネジ(六角穴付)をL型レンチで 締めてください(時計方向)。又、上記調整はク ロス(糊付けなし)を通しながら行うと容易に行 えます。調整が終わったらソケットで六角ナット を締めてください。

AXE

締めすぎるとクロスの糊付け長さは設定より若干長め に出るようになります。 また締めすぎ、緩めすぎてもクロスの引き上げ能力が 落ちます。



第29図

スリッター刃物の交換方法

スリッターの刃物は、消耗品です。スリッターの切れ味が悪くなったら刃物(カッターボックス)を交換してください。 厳密に修理する場合は、一旦当社へスリッターを戻していただき、 詳細な点検調整を行ってください。

スリッターの刃物の交換方法

1.カッターボックスの外し方

- ① スリッターを本体より外してください。
- ② 刃幅調節ツマミを時計の針と逆方向に回し、 後ろのスライド固定具から外してください。 (第30図参照)



第30図

⚠警告

刃物を交換するときは必ずスリッターを本 体から取り外して行ってください。

⚠警告

本製品は刃物に触れることがないよう安 全には配慮しておりますが、刃物で手を切 ったりしないよう取扱いには十分注意して ください。

⚠警告

カッターボックスを分解しないでください。 手を切る恐れがあります。

⚠注意

スリッターを本体より取り外す際は、事前にスリッター電源 コードをコントローラーより外してください。

- ③軸受板内側より、軸受カバーを固定している 皿ビス(左右・各2個)を(+)ドライバーで緩め て軸受カバーを外します。 (第31図参照)
- ④ スリッターレールを固定する皿ビス(左右・各 5個)を(+)ドライバーで緩めて外します。
 (第32図参照)
- ⑤第33図のように軸受板を回転させた後、カッターボックスを固定しているナベビス3個を(+)ドライバーで緩めてカッターボックスを取り外してください。
 ※第34図は、完全にカッターボックスを取り外した状態

2.カッターボックスの取り付け方

 カッターボックスの軸にコイルバネ、ワッシャ ーを順にはめてください。(第35図参照)



第35図

- ② カッターボックスをスリッターモーター部に 取り付けます。カッターボックスの軸をスリッ ターモーター部の受け穴にはめ込みます。
 (軸の凸部を穴の溝にはめ込む)。
 この時、(+)ドライバーで軸を少しずつ回しま すと、確実にはめることができます。
- ③ナベビス3個を締めて、カッターボックスをス リッターモーター部に固定します。
- ④軸受板を元の位置に戻し、皿ビス(左右各5
 個)を締めてスリッターレールと軸受板を固定します。
- ⑤ 皿ビス (左右各2個)を締めて軸受カバーを軸 受板に取り付けます。
- ⑥ スライド固定具を動かし、刃幅調整ツマミの後 ろに合わせ、締め付けてください。

⚠注意

セラミッククロス、無機質クロス等、壁紙の種類によっては、極端に刃物を傷めますので注意してください。

ぬメモ

スリッターの刃物は、3分間程度空回ししますと切れ味 がよくなる場合があります。

⚠注意

右側(コントローラー側)の軸受カバー6を外す際、ス リッター電源用コードを傷めないよう注意してください。



第31図







第33図



第34図

本機に異常が生じた場合は、次の手順に従ってチェックしてください。







別売オプション



404-955 NEWコントローラー収納ボックス ※中仕切り付の高強度コントローラー収納ボックス



404-954 ライトボックス ※軽量タイプのコントローラー収納ボックス

※コントローラーや付属品の収納、運搬に最適です。



400-251 テープガイドA38mm巾 400-252 テープガイドA45mm巾



400-253 カットテープ取付キットA



405-804 テープテンションブラケット ※カットテープの蛇行を抑えます。



400-169 カッターボックスセット (左) SP・リサイクル 400-170 カッターボックスセット (右) SP・リサイクル



405-806 クロス受け板



404-918 NEWカバーシート ※現場のほこりをかぶらず、糊の乾燥防止に もなります。



409-840 ¢100mmキャスターF(ストッパー有)100¢ **409-841** ¢100mmキャスターF(ストッパー無)100¢ ※薄型スパナ(19×21mm)を使用し、交換 できます。



●本体	(本体カバー、クロス芯棒、テンションバー、付属品の重量は含んでおりません		
重量	32.2kg (本体部 22.4kg 脚部 9.8kg)		
	全幅 1,220mm (コントローラー装着時 1,323mm)		
寸 法	奥行 450mm (本体部 265mm)		
	全高 845mm (脚折りたたみ時 430mm)		
有効糊付幅	1,050mm		
糊タンク容量	約14リットル		

●スリッター

重	量	4.2kg
ন	法	全幅 1,207mm
		奥行 137mm
		全高 162mm
有効裁断幅		780~1,040mm
電	源	コントローラーから供給
出	カ	20W

●コントローラー

重量	3.4kg
電源	AC100V 50Hz/60Hz
出力	33W(最大180W)
消費電力	220W
糊付スピード	3~18 m/分
使用温度範囲	0~40°C

※製品内容・仕様は改良等のため、予告なしに変更することがありますので、 予めご了承ください。



本社 〒939-1272 富山県高岡市下麻生4649 TEL(0766)36-2800代

フリーダイアル:0120-303-841